

ナツツバキ？

小嶋祥三

我が家の門の前に下水の枡がある。ある時、だれかが枡にたまった土砂を浚ったようで、門の横の土がむき出しになっているところに捨ててあった。文句を言う相手が分らず、そのままになった。去年（2015年）の5月頃だったろうか、そこに二葉が生えているのに気がついた。草ではなかった。雨で木の実が下水枡に流れ落ちたのだろう。ただ、木の種類が分らない。道に沿って生えている樹のはずと探してみたが、葉の似ている樹がない。そのうち、成長してきたので、植木鉢に移した。その年の秋までに、13枚の葉をつけたように記憶している。ただ、最後の葉は黒ずんですっかり開かずに散ってしまった。そんなわけで、今年芽吹くか心配していた。なかなか芽が出ず諦めかけていたところ、4月半ばに幼木のテッペンに芽吹き兆候がみられた。ホッとした。芽がでるのが遅い木ようだ。現在4月の末には、3枚の葉と幹?の途中から小さい葉が出ている。

この木は何の木だろうか、時折妻と話題にしていた。道沿いに該当する樹はなかったし、誰かが投げ入れた果物の種から芽が出たとは思えなかった。そのうち妻があの木はナツツバキかもしれないと言いだした。確かに、ナツツバキなら門の横に生えていた。白い花をつけたが、一昨年、カナブンの類の幼虫に根を喰われ、枯れてしまった。ハナミズキにも似ているように思えたが、そういえば、葉の色がナツツバキに似ていると思った。さっそくネットで調べると、どうもナツツバキで正解のように思えた（本当のところ、まだ分らない）。ナツツバキは沙羅とも呼ばれ、諸行無常の象徴・沙羅双樹は同じ仲間だ。

下に写真を載せる。下は我が家の門の脇で咲いていたナツツバキの花である。白い花と明るい緑色の葉だ。次ページに去年と今年の幼木の写真を掲げておく。



わが家の門の脇
で咲いていたナ
ツツバキ



去年のナツツバキ？の幼木。葉の表面が特徴的



今年、葉を出した幼木。ナツツバキならいつ花をつけるのか